

栗 ひまわり

【『ひ・ま・わ・り』のごとく】こころもからだも元気な声の栗ノ保っ子



本物をめざして

6月の全校集会で、「ほんものを目指すにはどんなことが大切ですか？」の問いに、私の目の前にいた4年生の女子児童が「あきらめないこと！」と間髪入れずに返答してくれました。私の話をしっかりと聴いて、即答できる素敵な姿に感動しました。そのあと、私が大切だと考えることは、「目標をもつこと」「自分に負けないこと」「あきらめないこと」「やりきること」のサイクルを回すことだと児童に伝えました。



6月 June

ほんもの

本物



その代表として「大谷翔平選手」を例に挙げました。野球のことはよく分からなくても、大谷選手のことは知っている児童がたくさんいました。

大谷選手は小さい頃から目標をしっかりともち、継続的にその目標に向かって努力している野球選手の一人です。そうやって継続していることの一つに「ゴミ拾い」があります。現在でもそれを実践し世界的にも賞賛されています。そういう **小さなことでもやりきることが【本物】に繋がっていく** ということです。大谷選手はこの他に、「あいさつ」「道具を大切に扱う」「プラス思考」「応援される人間になる」などの目標をもち現在も継続して実践しています。これが大谷選手の素晴らしい **【人間性】** として報道等で取り上げられ、世界の人々から賞賛され応援されている理由なのでしょう。

小さなこと、あたりまえのことを取り組み続けて、『本物』をめざす！ が6月のキーワードです。本校の学校教育目標に通じることですね。児童は学校教育目標を言えるようになっていきます。保護者や地域の皆様にも浸透していくように、今後も学校教育活動を進めていきます。

令和8年度

学校教育目標

あたりまえのことを
わかってと
のばそうと



ほんきでやりきる

Associates

6・7月 あしなみ

★「時を守る」

【時間を守るンジャー】

① 時計を見て行動

② ○分前行動（3分前、2分前、1分前）

※5月より日課が変更となりました。それに伴い現在ノーチャイムになっています（機器の障害）。それでも児童はしっかりと声を掛け合い行動しています。素敵な姿が見られます。

時間を守るんジャー



「生徒指導部；三波教諭より」



今年度の学校研究

【対話を通して学びを深める力の育成 ～自己調整学習を取り入れた授業づくりを通して～】

6月2日（火）県より指導主事の先生方に来校していただき、本校の学校研究についてご指導をいただきました。5年社会科の授業をモデルにして研修を行いました。指導・助言の中で「名探偵コナン」を例に挙げて説明されました。事件発生で「解決したい（目的意識）」、そのために「様々な調査（方法・内容を選択）」を行い解決に導く。様々な方法・内容を自己選択し調査を行う場面が本校の「自己調整学習」に当たるのではないかとのことでした。「なるほど！」と学びを深めることができました。この学びを活かして、今後の学校研究を進め、児童の学びや成長につなげていきます。